

令和7年度 第3回厚木市健康食育推進協議会（会議結果報告）

会議主管課	健康こどもみらい部 健康医療課
会議開催日時	令和8年3月12日（木） 午後3時から午後4時まで
会議開催場所	保健福祉センター3階 ヘルスアップルーム
出席者	<厚木市健康食育推進協議会委員 12人> <事務局6人> 健康こどもみらい部長、健康医療課長、 健診・予防係長、健康医療係長、同主査、同主事
会議要旨	・案件 (1) 第3次健康食育あつぎプラン最終評価について (2) (仮称) 厚木市健康づくり推進条例について (3) その他
説明者	健康医療係長、同主事
傍聴者	なし

委員15人中12人出席（過半数）により会議は成立
（1人WEB会議での出席）

会議の経過は、次のとおりである。

1 開会

資料の確認、協議会の役割、組織運営等について、事務局より説明。

2 案件

(1) 第3次健康食育あつぎプラン最終評価について

会 長 事務局から説明をお願いしたい。

事務局 資料1に沿って説明。

会 長 事務局の説明が終わったので、質疑に入る。

委員 栄養食生活の分野が、全世代で平均 1.8 点とほかの項目より低い点について、市民に対して専門性を持つ栄養士等の介入や意識が少し薄いことや、今後栄養士、医科等の誰が中心を担って対応していくのか曖昧であると思う。

小・中学生に対して、「飲酒・喫煙をしたことがあるか」聞いているが時代的に攻めている質問であり、まともに回答してくれていない可能性はないのか。

事務局 健康日本 21 の目標値で、未成年者の喫煙・飲酒 0 % と設定されていることから設問に加えております。

また、アンケート調査の回答方法は、無記名により個人等の特定はしない仕様として配慮しています。

委員 今後、薬物に関連した目標値や設問等もできるのではないかとと思われる。

よく噛むことの意識についても、歯科の専門でしっかり定義して調査結果を活用していく必要がある。

手洗いうがいについては、コロナ禍を経て習慣化したかもしれないが、あくまでも自宅が中心で、集団生活におけるとそうではないと思われる。学校生活では、コロナ禍中に食後の歯磨きが感染症対策で推奨されずに、歯磨きをした後もうがいを飲み込むよう指導しているということも聞いたことがある。

フッ素が毛嫌いされている傾向にあるが、フッ素が歯に効果的であることを啓発するとともに啓発の方法は検討する必要がある。

委員 栄養食生活の分野で、野菜を多く摂取することや塩分を控えることの重要性も踏まえて団体に活動しているが、年 1 回の活動のため、なかなか広まりづらい状況である。今後公民館まつり等を活用しながら、市民の方に普及啓発を行いたいと感じた。

委員 多くの子どもと接する機会が多くあるが、核家族化により、昔より保護者が子どもに対して、面倒を見切れていない状況が見られる。

そういったことが、朝食の欠食等にもつながっているのではないだろうか。子どもに対して多くのサポートが必要だと感じる。

委員 日頃から郷土料理等の普及活動をしているが、地場産業のものを食べてほしいと思い、講習会等を開いても来る人が限られており、広がっていない。

講習会では採れたての野菜とスーパーで購入した野菜では茹でる時間が異なり、採れたての野菜がいかに新鮮なのかを特に子育て世代に知ってもらう機会があると良い。

委員 共働き世代が増加しており、子どもに栄養や新鮮なものを食べさせたいという気持ちがある方は多くいるが、時間に余裕がなくなかなか実行できていないのではないだろうか。学校の歯科健診を実施するとほぼむし歯0という状況で、意識は高いため、実行できるようなサポート体制が必要。

(2) (仮称)厚木市健康づくり推進条例について

会長 事務局から説明をお願いしたい。

事務局 資料2に沿って説明。

条例名について、現在仮称であり条例名についても意見を伺いたい。

会長 事務局の説明が終わったので、質疑に入る。

委員 条例をつくることは良いが、現在も健康づくりに関して理解している方や活動に参加する人は少なく、条例についても理解してもらえよう進めてほしいと思う。

委員 今の仮称名のままだと市民が興味を持ってくれるかという疑問はあるが、なかなか興味を持ってもらえる名称をつくることも非常に難しいと考える。

(3) その他

会長 事務局から説明をお願いしたい。

事務局 委員の任期満了等について

会長 事務局の説明が終わったので、御意見、御質問があれば、お願いしたい。

会長 御質問等がなければ、案件(3)について、終了とする。
以上をもって本日の案件は、全て終了する。

【会議終了 午後4時10分】